

議会だより



第60号

2018年11月1日
石川県かほく市議会

CONTENTS

	ページ
審議された議案等	2
討論	3
議会報告会	3
一般質問（6人が登壇）	4
常任委員会レポート	11
視察研修レポート	15
議会日程・傍聴案内	16

高松額神社秋季祭礼「赤ちゃん泣き相撲大会」（9月29日）

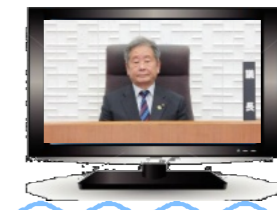
平成30年 第4回かほく市議会定例会のお知らせ（11/27～12/14）

日	月	火	水	木	金	土
		11/27 初日 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会	28 議会運営委員会	29	30	1
2	3	4 議会運営委員会 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 総務建設常任委員会 総務建設分科会	7 市民文教常任委員会 市民文教分科会	8
9	10	11 予算決算常任委員会	12	13 議会運営委員会	14 最終日 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会	

議会を傍聴しませんか？

本会議・常任委員会などを傍聴できます。議会ではどんなことが議論されているの？お気軽にお越しください。

傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。（受付順）



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

議会からのお願い



議会だより取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。

ご理解とご協力をお願いいたします。

委員のひとり言

先日、仲間で植えたサツマイモの収穫（芋ほり）をしました。

徐々に、寒さが厳しくなる季節ですが、秋から冬に収穫できる食材は身体を温める効果があります。これからの旬の食材としてサツマイモ、大根、レンコン、ゴボウ、長いもなどの根菜が代表的です。

「寒い土地で育つ野菜は体を温めてくれる」という話を聞いたことがありますが、人間は寒いと体を温めようとするため自然と体を温める食材を食べたくなるようです。

風邪予防、冷え性改善に、かほく産の根菜食材をたくさん頂きましょう！

（塚本 佐和子）

「議会だより」をスマホで読む！



アプリのダウンロードは、右の二次元バーコードからアクセスできます。



議会広報特別委員会

委員長 板谷 悦郎	副委員長 野田 稔彦
委員 杉本 成一	金子 猛 丸井 一範
大西 潤	塚本 佐和子

※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

※印刷コスト 1部 19円（発行部数 12,200部）

平成30年 第3回 定例会

会期/8月28日～9月21日

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第57号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度かほく市一般会計補正予算(第3号))	予算決算	原案承認 (全会一致)
議案第58号	平成30年度かほく市一般会計補正予算(第4号)	市民文教	原案可決 (全会一致)
議案第59号	かほく市手話言語条例の制定について		原案可決 (賛成多数)
議案第60号	かほく市高松総合型地域スポーツクラブ拠点施設条例の一部を改正する条例について	総務建設	原案可決 (全会一致)
議案第61号	小字の名称の変更について		原案可決 (全会一致)

〔市長提出議案(決算)〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
認定第1号	平成29年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	原案認定 (賛成多数)
認定第2号	平成29年度かほく市営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第3号	平成29年度かほく市墓地特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第4号	平成29年度かほく市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第5号	平成29年度かほく市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第6号	平成29年度かほく市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第7号	平成29年度かほく市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第8号	平成29年度かほく市大海財産区特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第9号	平成29年度かほく市水道事業会計決算の認定について		
認定第10号	平成29年度かほく市下水道事業会計決算の認定について		

※議案及び審査の主な内容については、11ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名(議席番号順)													
		塚本 佐和子	野田 稔彦	大西 潤	丸井 一範	板谷 悦郎	金子 猛	坂井 正毅	高橋 成典	安達 肇	杉本 正一	竹内 幹雄	杉本 成一	寺内 照雄	猪村 博晴
議案第60号	かほく市高松総合型地域スポーツクラブ拠点施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成29年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 坂井正毅議員は議長職のため採決には加わりません。

討論

議案に対して3氏が討論

高橋 成典

スポーツ条例改正に反対

議案第60号で、高松総合型地域スポーツクラブ(アクロス高松)の値上げに反対する。同施設利益の2分の1、29年度は1100万円余(従来は3倍余)を、成果配分として市に繰り出ししており、大きな黒字を出している。同施設の20%も値上げには反対。

大西 潤

全議案に賛成

議案第60号で、指定管理者制度により運営している「アクロス高松」は、会員からの利用料金を基本的な財源として運営を行っており、今後の大規模改修など必要経費を考えると、利用料金の上限を引き上げることが妥当である。

高橋 成典

決算認定1件に反対

決算認定1件に反対する。

討論って?

議案に対する「賛成」「反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言ですよ



にゃんたろう

討論の文章は、本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

議会報告会

見守りボランティアと意見交換

8月6日

近年、全国的に通学時の交通事故が多く発生しており、子ども達の尊い命が交通事故により失われることは、あってはならないことです。

こうした課題に、議会として対応するため、今回、見守りボランティアの方々12人と、議会報告会を開催しました。

竹内市民文教常任委員長の挨拶で開会し、坂井議長より第1回(3月)及び第2回(6月)定例会での審査内容を報告した後、「児童の安全対策について」をテーマに意見交換を行いました。意見交換の内容は次のとおりです。

・各校区の見守りボランティアの服装が統一されていないので、統一したほうが望ましい。

・風雨時には、傘を差し登下校しており、2列歩行は危険と感じている。

・河北縦断道路の横断地下道で、過去に不審者が出没し押しボタン式のパトランプを設置したが、警察や学校に連動するシステムにして欲しい。

・信号のある交差点に児童が集中した時に気を使う。冬場の冷たい風に苦慮している。

見守りボランティア活動の経験から、子ども達の安全を守るための意見を聞くことができ、大変意義のある意見交換となった。



見守りボランティアの様子

一般質問

Q 子どもの多い地域で学童保育クラブや児童館が無い地区については、施設がある地区とのサービスに格差があるように思われる。

夏期の繁忙期を含めて、現在どのように対応しているか。

A 森田市民部長 学童保育クラブでは、夏休み期間中の利用児童数や、利用時間の増加に対し、経験者を中心とした臨時職員を配置し対応している。

また、児童館施設が無い地区については、公民館施設の開放時間の延長など、地区施設の活用を進めていくことが、より効果的であると考ええる。



野田 稔彦

質問 1

児童福祉施設等の地域格差について問う 地区施設のさらなる活用が効果的である

Q こども園に児童館を隣接し、ゼロ歳から12歳までの子ども達が一貫して安心して遊べる施設を望むが、今後の計画について問う。

A 市民部長 学校区ごとに設置された現在の配置を継続していくことが最適であり、児童福祉施設等の再配置については、今のところ必要ないと考えている。



白尾児童館

質問 2

水辺公園の芝生広場整備・遊具設置を提案する

利用状況を踏まえて判断する

Q 水辺公園の簡易グラウンドについて、1面には野外球技やレクリエーションに使用できるような芝を植栽し、残りの1面には、野外トランポリン等の遊具を設置し、子ども達が遊べる公園にできないか。

A 油野市長 芝の植栽については、今後の住民ニーズの変化を見極め、ほかの公園の状況も考慮しながら総合的に検討する。

また、遊具の設置については、市全体の公園やこども園などの遊具の設置状況、公園の利用状況などを踏まえて判断したい。



水辺公園のグラウンド

Q 水辺公園やふるかわ公園に、カヌー用の簡易船着き場を整備してはどうか。

A 市長 これらの公園については、極力手を加えずに自然環境や景観を保持していく必要があり、カヌー用設備の設置は、当面考えていない。

平成30年 第2回臨時会

会期/7月13日

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案(人事)〕

議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
同意第5号	かほく市監査委員の選任につき同意を求めることについて ・議会議員のうちから選任すべき監査委員として、杉本正一氏を選任するもの	7月13日	原案同意 (全会一致)

議会組織について

議会の組織に一部変更がありましたのでお知らせします。
(太字⇨変更箇所)

- 総務建設常任委員会(7人)
 - 委員長 安達 肇
 - 副委員長 板谷 悦郎
 - 委員 杉本 成一
 - 杉本 正一
 - 高橋 成典
 - 金子 猛
 - 大西 潤
- 市民文教常任委員会(6人)
 - 委員長 竹内 幹雄
 - 副委員長 丸井 一範
 - 委員 猪村 博靖
 - 寺内 照雄
 - 野田 稔彦
 - 塚本佐和子
- 予算決算常任委員会(13人)
 - 委員長 猪村 博靖
 - 副委員長 杉本 成一
 - 委員 寺内 照雄
 - 竹内 幹雄
 - 杉本 正一
 - 安達 肇
 - 高橋 成典
 - 金子 猛
 - 板谷 悦郎
 - 丸井 一範
 - 大西 潤
 - 野田 稔彦
 - 塚本佐和子
- 議会選出監査委員
 - 杉本 正一
- 河北郡市広域事務組合 議会議員(4人)
 - 杉本 成一
 - 竹内 幹雄
 - 高橋 成典
 - 金子 猛
- 議会運営委員会(6人)
 - 委員長 杉本 成一
 - 副委員長 猪村 博靖
 - 委員 竹内 幹雄
 - 安達 肇
 - 板谷 悦郎
 - 丸井 一範
- 広報特別委員会(7人)
 - 委員長 板谷 悦郎
 - 副委員長 野田 稔彦
 - 委員 杉本 成一
 - 金子 猛
 - 丸井 一範
 - 大西 潤
 - 塚本佐和子

あなたの声を 市政に

第3回定例会で6人が一般質問を行いました。

「一般質問」って？
市の行政について、議員が市長をはじめとして担当部局に疑問点や見解などを尋ねたりするものです

ページ	質問事項	質問者
5	学童保育クラブ及び児童館について ほか	野田 稔彦
6	災害ボランティアセンターについて ほか	塚本佐和子
7	海岸線保持の今後の予定について ほか	大西 潤
8	通学路の安全対策について ほか	丸井 一範
9	高齢者、障害者等への公共交通の充実について ほか	高橋 成典
10	ハザードマップの住民への周知について	安達 肇



にゃんたるう

質問者

一般質問



塚本 佐和子

Q 災害が起きた時に、ボランティアを受け入れる「災害ボランティアセンター」の開設場所はどこか。

また、実際に開設までの訓練を行っているか。

A 油野市長 交通のアクセスや近隣の住宅状況などを考慮し、「うみっこらんど七塚」を開設場所に指定している。

また、訓練は、昨年8月に市の防災訓練と合わせて実施している。

今後は、社会福祉協議会と連携しながら災害時に運営スタッフやボランティア確保につながるよう周知していく。

一般質問



大西 潤

Q 高松地区の海岸浸食が非常に激しい状況である。

七塚海岸浸食対策事業に引き続き、高松地区の海岸においても人工リーフを整備する必要があると考えるが。

A 油野市長 高松地区の海岸は冬季波浪の影響により、さらに浸食が進むことが予想される。

まずは現況調査を実施していただいた上で、高松七塚海岸の一体的な整備として事業の推進を図っていただけるよう、海岸管理者である県をはじめ、国など関係機関に対し、引き続き強く要望を行っていく。

質問 1

「災害ボランティアセンター」の開設場所は

「うみっこらんど七塚」を開設場所に指定



災害ボランティアセンター設置訓練

質問 2

子ども総合センター

「おひさま」について問う

気軽に安心して利用できるよう情報発信に努める

Q 「おひさま」の具体的な事業内容は。

A 森田市民部長 保育士2名と専門的知識を有するアドバイザー1名を配置し、必要に応じて子ども



子ども総合センター「おひさま」

どもの健康や発達、育児に対する不安解消などの相談に応じている。

Q 児童虐待防止に向けた取り組みについて問う。

A 市民部長 関係機関と連携し、児童虐待への対策を講じている。厚生労働省では、「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」を年内に策定すると聞いており、

国が示すプランに対応できるように準備を進めるとともに、気軽に子育ての悩みを相談できる「おひさま」の活動について情報発信に努める。

質問 3

セクハラ、パワハラ対策

女性専用相談窓口の設置を

県内市町の状況を調査し検討する

Q セクシャルハラスメント、パワーハラスメント対策として、女性が気軽に相談できる、女性専用相談窓口の設置を提案する。

A 市長 現在、女性専用相談窓口の設置は考えていないが、県内市町の状況等も調査した上で、どのような体制が可能なのか検討したい。

質問 1

高松海岸に人工リーフを整備せよ

海岸管理者の県や関係機関に整備を要望する



浸食が進む高松地区の海岸

交通渋滞を緩和するため、同インターの金沢方面入口を、常時左折ができるようにせよ。

A 瀬戸産業建設部長 高松インター付近の交通渋滞を解消し、市民の利便性向上を図るため、引き続きあらゆる機会を捉えて、県や県警本部に対し必要な要望を行っていく。

質問 3

河川監視カメラ設置の進捗状況と増設予定は

9月末には運用開始の見込み

Q 防災用河川監視カメラ設置（大海川、大谷川、宇ノ気川）の進捗状況はどうなっているのか。

今後、増設する予定はあるのか。

A 産業建設部長 進捗状況については、9月末にはカメラの映像を見ることができると見込みで、一日も早く運用を開始できるように鋭意工事を進めている。増設予定については、国、県の防災カメラの運用状況も確認しながら検討する。

質問 2

高松インター付近の交通

渋滞を緩和せよ

県や県警本部に対し必要な要望を行う

Q のと里山海道の無料化に伴い、高松インターを利用する車が増え、通勤時間帯には交通渋滞を招いている。



通勤時間帯の高松インター付近

一般質問



丸井 一範

Q 市内の「子ども110番の家」の設置状況及び被害状況、学校及び子どもへの周知、連携、また、新たに設置する予定はあるのか。

A 山口教育部長 市内には、現在145カ所の「子ども110番の家」が設置されている。

利用状況については、被害児童などが利用したという通報は、今のところ受けていない。

学校や子どもへの周知や連携については、毎年、各学校において年度初めに実施している集団下校の指導の際に、「子ども110番の家」の確認、周知を行っている。

その他、少年愛護センターが毎年3月に発行している広報紙

一般質問



高橋 成典

Q 高齢者、障害者、妊産婦など各種の福祉タクシー助成制度や福祉巡回バス、市営バスなど、公共交通のさらなる充実を図るべきではないか。

A 森田市民部長 タクシー助成は、利用実態を踏まえ、より一歩優れた助成制度にできないか、また、市営バスの大海地区の助成も、あわせて検討する。



市内を走る福祉巡回バス

質問 1

「子ども110番の家」について問う

警察、学校と連携をとり、今後も取り組む

「ふれ愛」に「子ども110番の家」の一覧を掲載し、市内に全戸配布している。

設置が必要と思われる通学路については、店舗等の協力を得て警察署に働きかけていく。



質問 2

除雪機を購入する町会区に補助せよ。また、消雪装置について問う

除雪機の補助、消雪装置の新たな整備はしない

Q 大雪に対する取り組みとして、各町会区で除雪機を購入する場合、その費用の一部を助成してはどうか。

A 油野市長 市では、市民の安全確保のため、町会区に対し小型除雪機の貸し出しを行っている。

今年度は、除雪体制の強化のため、1台購入、リース3台を確保し、全部で22台の除雪機で対応する予定であり、除雪機購入補助制度の創設は、現時点では考えていない。

市内の消雪施設の設置状況については、現在、114施設108本の消雪井戸がある。



歩道除雪の様子

質問 1

市内各種のバス、タクシー制度の拡充を

利用実態を踏まえ検討する

質問 2

学校給食の無償化を

今のところ考えていない

Q 県内での学校給食無償化は、加賀市、中能登町、志賀町の3自治体(15・8%)が一部実施。市で学校給食無償化を実施した場合約1億6千万円だが、一部無償化から実施できないか。

A 山越教育長 現時点では学校給食無償化は考えていない。

A 油野市長 子育て支援は重要だが、学校給食無償化の優先順位はまだ上位ではない。

質問 3

バリアフリー条例を制定せよ

安全・安心なまちづくりを進める

質問 4

聴覚障害者のために磁気ループを導入せよ

意見を聞き検討する

Q 補聴器や人工内耳など、聞こえをサポートする磁気ループは、全国1615カ所、県内20

* バリアフリー法が改正された。市も条例制定など整備すべきではないか。

A 市長 県や各市町、事業者と密接に連携し、バリアフリー社会の推進に努め、安全で安心なまちづくりを進める。

カ所で導入されている。その仕組みは比較的シンプルで、補聴器を使っている方々にとって救いの装置であり、前進させるべきではないか。

A 市民部長 聴覚障害者などから意見を聞き、磁気ループや貸出補聴器などの設備導入の必要性を検討し、聴覚障害者の方々の環境改善を進める。



携帯型磁気ループシステム

安達委員長 新たな小字の名称はどのようにして決められたのか。
北川産業振興課長補佐 地元と県の協議により決定しており、地番として使用できるかについて

◎小字の名称の変更
 上田名地区の県営ほ場整備事業の完成に伴い、当該区域における小字の名称を変更するもの。
大西委員 小字の名称の変更時期は、いつになるか。
丸井総務課長 県の換地処分が必要となるので、11月下旬を予定している。



ほ場整備事業（上田名地区）

おもな審査内容

ほ場整備事業に伴い小字の名称を変更

ては法務局と協議が必要となる。

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 安達 肇 |
| 副委員長 | 板谷 悦郎 |
| 委員 | 杉本 成一 |
| | 杉本 正一 |
| | 高橋 成典 |
| | 金子 猛 |
| | 大西 潤 |

◎高松総合型地域スポーツクラブ拠点施設条例の一部改正
 アクロス高松の老朽化に伴い、今後必要となる更新・改修費の

野田委員 県内における他市の条例制定の状況は。
越井健康福祉課長 金沢市、加賀市、白山市、能美市について県内5番目である。

折戸生涯学習課長 利用料金
 は、他の類似施設と比べ安価であり、今回の条例改正は、施設利用者に対し一部負担をお願いするものである。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 竹内 幹雄 |
| 副委員長 | 丸井 一範 |
| 委員 | 猪村 博靖 |
| | 寺内 照雄 |
| | 野田 稔彦 |
| | 塚本 佐和子 |

おもな審査内容

手話の理解促進・普及のため条例制定

◎手話言語条例の制定

手話に対する理解の促進及び手話の普及に関する基本理念を定め、市の責務並びに市民及び事業者の役割を明らかにするもの。

竹内委員長 施設設備の更新・改修費や利用料金について、市や市民の負担が大きくなならないよう留意してほしい。

市民文教常任委員会

一般質問



安達 肇

Q 平成30年7月豪雨において、倉敷市真備町では小田川の氾濫により51人の方が亡くなった。倉敷市は洪水ハザードマップを作成しており、浸水被害は想定とほぼ重なっていたにもかかわらず、被害を防ぐことはできなかった。ハザードマップを住民に配っただけでは被害は防げないことが明らかになった。
 市には、洪水・土砂災害・津波・ため池・地震危険度・地震揺れやすさ・地震液状化など多くのハザードマップがある。これらは、住んでいる地域によって必要なものとそうでないものがある。
 そこで、各地区で行われている防災訓練の中で、現在使用さ

れている市全域が載ったA1サイズのハザードマップでは大きすぎるため、地区に必要な部分をトリミングしたA3サイズものを配布し、防災士が自分たちの住んでいる地域にどんな危険があるかを詳しく説明することを提案する。
A 油野市長 市内には海や山に近い地区もあれば、近くに川が流れている地区もあり、地域によって発生する災害が異なる。そのため、地区の状況に応じて各種ハザードマップを活用することは非常に有効である。
 ハザードマップの各地区エリア部分を拡大するなど見やすく加工したのも、防災訓練に活用していただきたい。

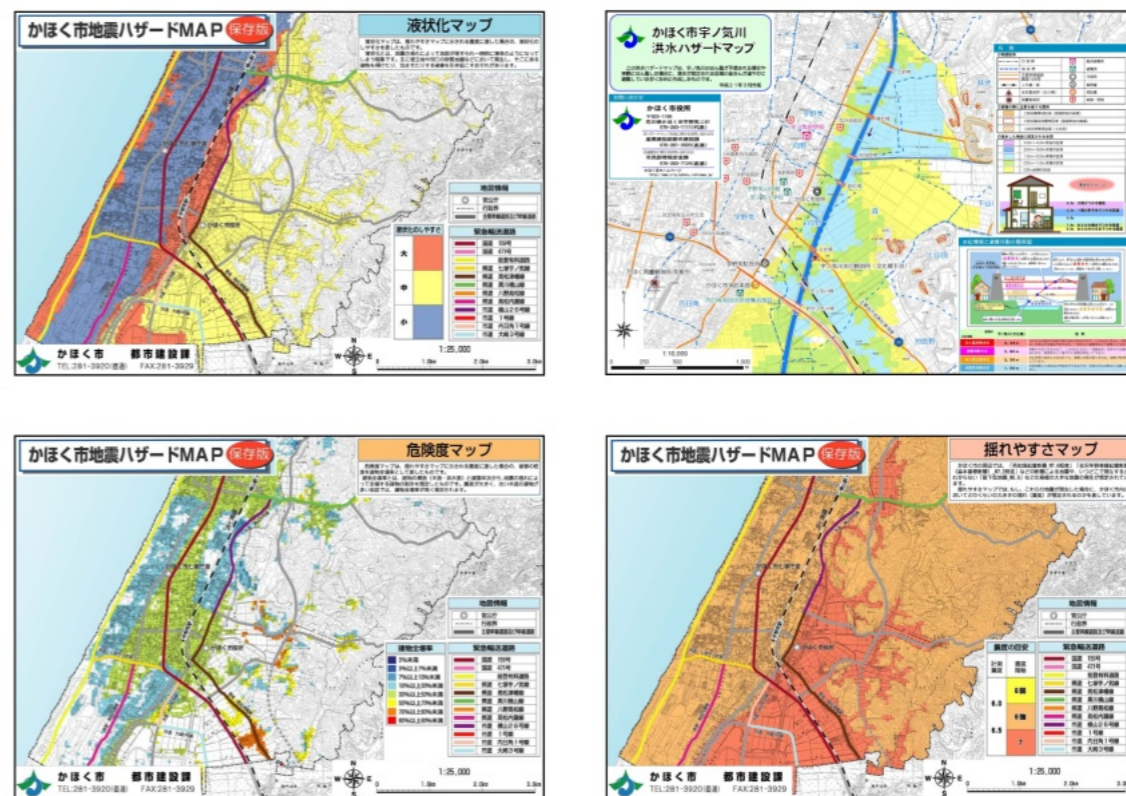
質問 1

有効な手法である

市ハザードマップトリミング図の活用を

(参考) 宇野気区用 ハザードマップトリミング図 (原本A3)

トリミング図作成：安達肇



予算
決算
常任
委員会

8月28日に予算決算常任委員会を開催し、議案説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で行うこととした。

総務建設分科会
9月7日開催

おもな質疑

高橋委員
庁舎空調設備改修で、既存の配管の対応は。
丸井総務課長
調査結果により対応を検討する。既存の配管が使えない場合は内部の水を抜き使用しないことを想定している。

杉本成一委員
友好都市交流事業補助金を受けられる団体の制限は。

市民文教分科会
9月6日開催

おもな質疑

猪村委員
中学校の大会出場派遣費は、その年により差があるのか。
笹山学校教育課長
北信越大会や全国大会に出場する人数、開催地等により派遣費に差が生じる。

寺内委員
運転免許証自主返納者の平均年齢はいくつか。
池田防災環境対策課長
男性は80・4歳、女性は74・4歳、男女合わせると78・2歳となっている。

丸井委員
運転免許証自主返納者は自覚して、窓口でスムーズに手続きを進めているのか。

総務建設分科会
高松駅前駐輪場の改築に着手
市民文教分科会
うみっこらんど七塚に大型遊具設置

千田企画情報課長
団体は10名以上の市民であり、どこかの団体に所属が必要といった制限はない。

大西委員
友好都市である駒ヶ根市にも同様の制度があると思うが、調整しているのか。

企画情報課長
調整しており、駒ヶ根市の補助制度と同額とした。(上限30万円)

杉本正一委員
高松駅前駐輪場は規模が約半分となるが、余った部分の利用方法は。
山田産業振興課長
しばらくは砂利敷とする。今後、どういった利用方法があるかを検討していく。

防災環境対策課長
免許証を返納することから、窓口には家族などが同行し手続きを行っているので、自覚していると思う。

寺内委員
第2期子ども子育て支援事業計画ニーズ調査の内容は。
中田子育て支援課長
国の基本方針に基づきアンケートを作成し、就学前及び就学児童の保護者2千人を対象に行う。

塚本委員
七塚小学校の暴風壁の進捗状況は。
山口教育部長
木津区長と相談し、冬前までに工事を行う予定である。

猪村委員
うみっこらんど七塚で設置される遊具はどのようなものか。



遊具が設置される「うみっこらんど七塚」

猪村委員
現在の高松駅前駐輪場の利用状況は。
産業振興課長
本年5月に現地調査を行い、現状の利用台数を勘案し計画をした。

高橋委員
住宅耐震改修工事費等補助金は定額補助か。
都市建設課長
基準と照合し、危険ブロックと判定されれば、時期に関係なく補助対象となる。

総務建設分科会 審査案件	
主な内容	平成30年度かほく市一般会計補正予算(第4号)
<ul style="list-style-type: none"> 庁舎空調設備改修詳細調査 友好都市交流事業補助金 高松駅前駐輪場改築工事 商工業振興補助金 道路長寿命化改修事業 危険ブロック塀除去補助金 など 	

折戸生涯学習課長
船の形をイメージした木製のもので、ジャングルジムや滑り台、ブランコの機能を持った大型の総合遊具を考えている。
野田委員
アクロス高松の設備更新により、施設の臨時休業は発生するのか。
生涯学習課長
年末年始の休館日や毎週の定休日を利用した工程を組み、臨時休業を行わず実施したい。

予算決算常任委員会
委員長 猪村 博靖
副委員長 杉本 成一
委員 議長を除く11名

市民文教分科会 審査案件	
主な内容	専決処分 平成30年度かほく市一般会計補正予算(第3号)
<ul style="list-style-type: none"> 第2次子ども子育て支援事業計画ニーズ調査 空家等対策補助金 危険遊具の撤去・更新(小学校) うみっこらんど七塚遊具更新 ブロック塀撤去・改修(小学校・公民館) など 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校大会派遣 気屋地区埋蔵文化財調査
	平成30年度かほく市一般会計補正予算(第4号)

予算決算常任委員会

市民文教分科会

事務事業を数値で評価

行政評価を実施するため、7月30日に両分科会が審査対象事業の抽出を行い、8月17日から24日にかけて、執行部から提出された「事業評価シート」をもとに、費用対効果や事業執行は妥当であったか、市民のニーズに応えられたか、改善すべき点はないか、などを主眼に置き審査を行った。

総務建設分科会

8月17日～21日開催

審査した事業において、一定の効果があつたものもあれば、改善を要するものもあつた。引き続き市民ニーズを的確に把握し、職員の創意工夫や努力することを期待する。

市民文教分科会

8月22日～24日開催

審査した事業において、使いやすい制度にするなど改善を要するものもあつた。地域に応じた特色のある施策の展開や既存の制度をより一層使いやすいものに改善するなど柔軟な対応を期待する。

結果報告

8月28日に、両分科会長より

審査の経過と評価の報告を受け、猪狩委員長から坂井議長に対し、結果を報告した。

9月11日に付託された、平成29年度の各会計の決算認定10件に関して概要説明を受け、詳細な審査は総務建設・市民文教分科会で、分担して審査を行った。

総務建設分科会

9月13日開催

● 一般会計決算
2市2町消防通信指令事務協議会負担金の負担割合、石川県並行在来線運行支援基金拠出金の負担割合、ケーブルテレビ事業の設備更新や、大崎海浜公園の施設撤去工事の内容などについて確認を行った。

市民文教分科会

9月12日開催

● 一般会計決算
高等学校等の生徒に対する奨学金の支給要件、「海と渚の博物館」及び「西田幾多郎記念哲学館」の有料入館者数、消費生活専門相談員の雇用状況、児童

報告書提出

議会による行政評価も含め、

予算決算常任委員会および各分科会での指摘事項については、9月25日に坂井議長と金子副議長が油野市長に報告書を提出し、平成31年度の予算編成において反映するよう要請した。



油野市長に報告書を提出

《平成29年度決算に係る議会による行政評価事業》

総務建設分科会審査

No.	担当課	事業名
1	総務課	定住促進用宅地活用事業(一般財産管理事業)
2	企画情報課	空き工場調査事業
3	企画情報課	学生UIターン就職奨励金
4	企画情報課	シティプロモーション事業
5	産業振興課	イノシシ駆除対策
6	産業振興課	創業者支援助成
7	産業振興課	水産業振興補助金
8	都市建設課	生活道路維持修繕
9	都市建設課	がけ地防災工事補助金
10	上下水道課	上水道施設整備事業(老朽管更新)
11	上下水道課	下水道施設整備事業(集落排水統廃合計画)
12	消防課	救急救命業務職員研修事業

市民文教分科会審査

No.	担当課	事業名
1	子育て支援課	地域少子化対策事業
2	子育て支援課	放課後児童健全育成事業(児童保育)
3	健康福祉課	生活困窮家庭等学習支援事業・生活困窮者自立支援事業(学習支援以外)
4	健康福祉課	マタニティタクシー助成制度
5	健康福祉課	成人・老人保健事業
6	生涯学習課	市民大学校
7	生涯学習課	学校・地域活動戦略プラン補助金
8	学校教育課	特別支援教育支援員配置事業
9	学校教育課	外国語指導助手配置事業
10	学校教育課	学校教育研究事業補助金
11	学校教育課	部活動指導者助成金

視察研修レポート

総務建設常任委員会

7月17日～19日

ふるさと納税を活用した地域の資源発掘や経済活性化について(埼玉県深谷市) 単に「寄付金を増やすこと」ではなく、「市内事業所が産品やその魅力を全国に届ける力をつけること」を目的に、お礼品国民人気投票、お礼品魅力向上プログラム「深谷R&Sラボ」、電子感謝券などの取り組みを行っている。ふるさと納税に対する深谷市の想いが詰まった内容であり、大変参考になった。



ひたちなか市役所にて

るチャンスが生まれるなど、メリットの多い制度であると感じた。

民間賃貸住宅家賃補助制度について(茨城県ひたちなか市)

市営住宅の戸数不足を補うことを目的に、民間の賃貸住宅を活用する家賃補助制度。入居希望者は自由に住む所を選べ、市は滞納整理など事務の軽減、また、認定事業者には、新たな入居者を獲得す

定住・移住促進の取り組みについて(山梨県北杜市) 首都圏からの移住者が多く、そういう方々にもやさしい支援策が多く取られていた。(子育て支援住宅、空き家バンク制度の周知方法など) 自分たちの市の魅力をしっかり把握し、それを求めているターゲットに対して働きかけていく姿勢を学ぶことができた。